



東大寺 212 世別當 筒井寛秀 筆

【発行】

奈良県肢体不自由児者父母の会連合会

<http://www.narakenshiren.gr.jp>

【発行責任者】 前田 妙子

【メールアドレス】

honbu@narakenshiren.gr.jp

平成から令和へ

会長 前田 妙子

新緑の美しい季節、第五十回総会を迎えることができました。平素よりご支援いただいております皆様方に心より感謝申し上げます。元号が「平成」から「令和」となつて新しい時代の幕開けとなりました。

「平成」をふりかえてみますと、障害者施策が大きく変遷した時代だと言えます。平成十五年に措置制度から支援費制度になり、自己決定によりサービスを利用できるようになりました。その後、平成十八年の障害者自立支援法では、三障害の一元化や障害程度区分の導入、就労支援の強化等がなされましたが、一方で応益負担になったことで利用者負担額が増加し様々な問題点が出てきました。世帯範囲の見直しや、利用者負担軽減等、緊急措置やつなぎ法を経て、平成二十五年に障害者自立支援法の改正法として障害者総合支援法が施行されました。その間、政府は、障害者制度改革推進本部を設置し、障害者制度改革推進会議には障害者本人や、障害者団体が参加し、障害者の生の声を届け、

施策に結び付けることができたことは大きな進歩だったといえます。障害者総合支援法は、障害福祉サービスの充実など障害者の日常生活と社会生活を総合的に支援することを目的としています。よりよい制度にするために今後も三年ごとに見直しながされます。そのために障害者本人や、障害者団体の声を届けるのが私たち父母の会の役目です。元号が「令和」になつても、父母の会の活動を通して、障害者の生きづらさを解消するために、日々の生活でのニーズや課題を国や県・市町村行政に伝えていく活動を続けていきたいと思えます。

当会は、今年度大きな事業を二つ控えております。一つは、七月十三日に開催いたします近畿肢体不自由児者福祉大会奈良大会です。テーマは「より豊かに生きる」ことができる共生社会の実現をめざして切れ目のない障害者支援の実現と社会への障害者理解の促進（福祉と医療の現状と課題）です。近畿の父母の会の皆さまのみならず、行政、医療、施設・事業

所、教育等、各関係機関の皆さま方に多数ご参加いただければ幸いです。

二つ目は、九月七〜八日に奈良県文化会館で開催いたします第十五回チャリティー墨書展です。ご揮毫くださいます東大寺様をはじめ南都諸大寺、三門跡ご寺院様のご高僧の方々の、子どもたちを想う御心に支えられて、平成三年から隔年ごとに、三十年の長きにわたり開催できておりますことに心より感謝申し上げます。東京の奈良まほろば館の書画展も今年で七回目となります。墨書展・書画展ともに、「令和」の時代も引き続き開催できますよう皆さま方のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

「令和」には、「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という意味が込められているそうです。「美しく心を寄せ合う」とは、「お互いのことを思いやる」ということではないでしょうか。今年度も、美しく心を寄せ合つて活動していきたいと思えます。どうぞ、引き続きご指導ご支援賜りますようお願い申し上げます。



父母の会に寄せて

奈良県福祉医療部

部長 西川 浩至

本年四月に奈良県福祉医療部長を拝命いたしました西川でございます。奈良県肢体不自由児者父母の会連合会の皆様には、平素から本県の障害福祉行政の推進に、格別のご理解、ご協力をいただいております。ことに感謝を申し上げます。

また、父母の会連合会におかれましては、前田会長をはじめ役員・会員の皆様が、肢体不自由児者の生活の向上、社会参加の促進など、様々な活動に積極的に取り組まれていることに、深く敬意を表します。

さて県では、昨年度に従来の健康福祉部と医療政策部を福祉医療部として改編し、これまで以上に福祉と医療の連携を深めて一体的に取り組むとともに、よりきめ細かな施策を展開できるよう努めているところですが、

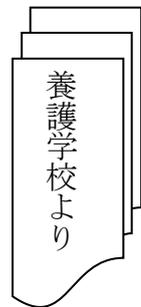
一例として今年度は、在宅で医療を必要とする医療的ケア児等への支援を推進するため、医療と福祉の両面から総合的にサービスや支援を調整できる「医療的ケア児

等コーディネーター」の養成研修を実施します。あわせて、各関係機関等による「協議の場」を設置して、医療的ケア児等への今後の支援のあり方について検討を進めたいと考えています。また、ご家族の介護負担軽減を目的とした医療機関におけるレスパイト入院の支援についても、引き続き必要な支援が必要な時に受けられる体制づくりに取り組めます。

平成二十八年四月に施行した「奈良県障害のある人もない人もともに暮らしやすい社会づくり条例」に基づき、全ての県民が、障害の有無にかかわらず、相互に人格と個性を尊重し合いながら、安心して暮らすことができる社会の実現を目指し、まほろば「あいサポート運動」の取り組みを核として、障害理解の促進に努めています。その一環として、昨年度には「奈良県版 障害理解啓発用DVD及びテキスト」を作成しました。作成に当たっては父母の会連合会の皆様にも多くのご協力をいただきました。心より感謝を申し上げます。今年度はこのDVDやテキストを活用して、まほろば「あいサポート運動」への参加をより広く呼びかけ、あたたかい地域社会の実現に向けて取り組んでまいります。

更に、今年度は五力年の「奈良

県障害者計画（平成二十七年度）平成三十一年度」が最終年度を迎えることから、次期障害者計画の改定を行います。改定にあたっては、これまで五年間の取組を検証し、より良い計画となるよう、父母の会連合会の皆様をはじめ各関係者のご意見もいただきながら作業を進めて参ります。



奈良県立明日香養護学校

校長 長矢 守生

奈良県肢連の皆さまには、日頃から本校教育の充実のためにご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

この四月から、明日香養護学校の校長を務めさせていただくことになりました。

私が本校に最初に赴任したのが平成二年度から十二年間勤めました。進路指導主事として、高等部卒業後の進路先がない中、市町村行政に掛け合ったり、育成会の地域作業所や老人施設のデイサービスを回っていました。一週間ず

つと家庭で過ごすのでなく自分たちで集える場をと「かるがもの会」や「福助&お多福の会」ができ、心理リハ月例会やハンディ・スイミングの会にも参加したり、冬には「それゆけ、ちよっとだけマラソン」と、仲間と会える場、身体を動かせる場を走りまわっていました。

そして、愚痴を聞いてもらいに、県社会福祉総合センターの事務局にもよく寄らせていただきました。今回、「道」の原稿依頼を受けて、つい昔を懐かしんでしまいました。時代はもう「令和」です。

養護学校義務制（一九七九年）で、就学猶予・免除とされていた在宅のお子さんたちに訪問教育がスタートし、四十年になります。

この間、小・中学部から高等部まで認められ、明日香養護学校が奈良県下全域の在宅訪問教育を担ってきました。西村圭也先生の手作り椅子に座って、歌声を聞いた子どもたちも多くいたでしょうね。来年度からは奈良養護学校と二校での校区割が始まります。

一方、ノーマライゼイション、インクルージョン、インクルーシブ教育と言葉は変わって来ましたが、学校現場には「合理的配慮」が求められています。「重症心身障害児」や「医療的ケア児」と呼ばれるお子さんが特別支援学校や小

中学校に就学される中、安心・安全な教育環境を整えなくてはなりません。私たちには、特別支援学校としての存在感やセンタースタッフ的機能が改めて問われています。

明日香養護学校は、いつまでも「平成」のままだねと言われないうように、教職員一同精進してまいりたいと思います。

今後とも、県肢連の皆さまにはご支援ご協力くださいますようよろしくお願い申し上げます。



奈良県立明日香養護学校

前PTA会長 元山 真奈美

平成三十年度は三十五名というたくさんの方の新生を迎えスタートしました。

明日香養護学校に通う子ども達も多様化してきたなかPTA活動もそれぞれに対応していくことが求められています。ですが、なかなか全員の要望通りの事を行えていないのが現状です。長い期間で応えていくよう次年度へと引き継いでいきたいと思えます。

活動としまして、全体では九月と十二月に榎原アルで「幸せの黄色いレシートキャンペーン」を行いました。十月には「清掃奉仕

作業」を行いました。外部ボランティアの方が十四名、保護者三十六名と、たくさんの方々に参加して頂きました。十一月に行った「たちばな祭のバザー」では物品・食品バザー共に大盛況でした。

進路部では年三回の学習会を行いました。第一回に「防災について」「非常時の食べ物について」、第二回に「口腔ケアのノウハウを知らう」、第三回に「障がいがある方やご家族のためのエンディングノートセミナー」を行いました。

今回、全体的に保護者の皆さまが求める内容が出来たと思えます。他にも夏休みに行われる「からだ楽々学習会」、現地研修会では株式会社川村義肢へ見学に行きました。

広報部では、六月に広報誌「あすか」、二月に「PTAだより」を発行しました。生徒の人数が増えクラスも多くなった為それに伴いページ数を増やし子ども達のステキな姿が沢山残せるよう対応しました。

PTA役員とは別に前年度発足した明日香実行委員会では、令和元年八月に行われる第六十二回全肢P連奈良大会に向け、奈良養護学校さんと共に合同実行委員会を五回、明日香実行委員会を五回行いました。

また今年度、奈良県高等学校PTA協議会の副会長校を担いまし

た。今年度のように外部事業での役が重なる、会長・副会長で対応するのが難しく、こういった場合に対応する為として経験豊富な人を顧問とし、会長・副会長で補えない部分に対応してもらいました。私自身、初めての経験ばかりでどうしたらいいのか右往左往するばかりでしたが、先生方や役員の方々に助けられて平成三十年度のPTA行事を無事終える事が出来た事に感謝の気持ちでいっぱいです。

これからも子ども達が楽しく健やかに学校生活を過ごせますよう、今後とも、ご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



奈良県立奈良養護学校

前PTA会長 植月 智子

奈良養護学校では、進路対策部・保体部・広報部の三部に役割分担し、PTA活動を行っています。

平成三十年度の校内の活動としては、例年通り、広報誌ならNOWの発行・ボランティアカード・施設見学会・給食試食会・子供たちの将来についてお話しする

会などを計画・実施。保護者親睦会では「ヨガ教室」を開催するなど、各部が趣向を凝らし活動を行いました。

校外の活動におきましても、イオン大和郡山さんとザ・ビッグエクストラ大安寺店さんのご協力のもと、地域啓発活動として、六月と十一月PTAバザーを無事開催することができました。また、イオン高の原店では、役員が、毎月十一日の「幸せの黄色いレシートキャンペーン」に参加（休日には生徒も一緒に呼びかけに参加）し、店頭活動を通じて、お客様と直にふれあうことで、奈良養護学校の子どもたちの事を、少しでも知っていただけたのではないかと思います。

十二月六日には「わたぼうしコンサートin奈良養護学校」が開催され、生徒・保護者ともに楽しい時間をすごさせていただきました。

そしていよいよ、令和元年八月二十二日・二十三日には、第六十二回全国肢体不自由児者特別支援学校PTA連合会総会およびPTA・校長会合同研究会「奈良大会」が開催されます。平成二十九年に引き続き、三十年度も、明日香養護学校さんとの合同実行委員会メンバーが中心となって、奈良大会に向けて準備を進めています。

最後になりましたが、多くの方々にご理解とご協力をいただきPTA活動を無事終えましたこと心より感謝いたします。これから子供たちが笑顔でいきいきとした学校生活を安心しておくれますようPTA活動に努めていきたいと思っておりますので、今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

本都役員 横谷 京子

近畿ブロック
地域指導者育成セミナー
平成三十年
十二月一日(土)～二日(日)
ポストンプラザ草津



◇地域で安全に安心して暮らす「住まいの場の工夫」

講師

横浜リハビリテーションセンター

西村 顕氏

◇「意思決定支援と肢体不自由のある人とのコミュニケーション」

講師

日本福祉大学

金森克浩氏

一日目は一級建築士である西村氏からグループホームでの災害時の避難用設備としてベランダから降りられる簡易エレベーターの紹介がありました。また家庭での入浴時は抱きかかえ介助が多く、介助者の負担軽減のためにシャワーチェアやリフトの導入、居室から浴室までの動線の見直しなどについての提案がありました。その後数人ずつにわかれてグループ討議を行いそれぞれの発表がありました。施設・GHでの入浴日数を増やして欲しいとの要望が多くありましたが、やはり人材確保が難しいのが現実でした。

二日目はコミュニケーションの支援機器としてパソコンが活用され、本人の状態に合わせたスイッチの工夫がされています。今は、視線を合わせることで入力し操作できる機器が開発されていて、視線入力でできるゲームも体験しました。在宅の重度の方とネットをつないで会話もできました。各種コミュニケーション支援機器の開発により在宅でも社会との繋がりがとれるようになるご期待がもてました。ただ支援者がまずこれらの機器の使用方法を熟知することが必要です



生駒市 峰 幸代

一日目は西村顕氏より、グループホームだけにとられない肢体不自由者のシェアする暮らしによる利用者の視点で工夫している「快適居場所」が紹介されました。その後七名の小グループに分かれ意見を出し合いましたが、親と住めなくなった時の居場所についての意見が多くいただきました。運営実態・支援内容・建物のバリアフリー等課題が他のグループでも出されていました。

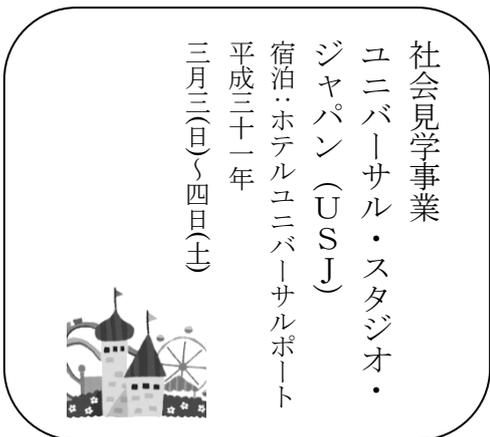
二日目は、金森克浩氏のiPadを利用した講演がありました。どのようなにされるのかと不安がありました。重度の障害があっても手段にこだわらず、テクノロジーの力で自分の意思を相手に伝えることができる支援器と、実際活用されている人の紹介もされました。機器の体験も楽しくさせていただきました。機器の体験も楽しくさせていただきました。子供の見線入力でも「何を思っているのか理解できるとすれば素晴らしいね」と小グループで話し合いました。アンケート用紙に「すごい一言」とだけ

しか書けませんでした。横の席の方も同じ事を書いておられて二人で苦笑してしまいました。親がすべてを決めてきましたので戸惑う気持ちもありますが、一人一人が明るく暮していくためにも前向きに捉えて考えさせられたセミナーでした。

他府県の方々とも交流させていただきました。ありがとうございました。

社会見学事業

ユニバーサル・スタジオ・ジャパン(USJ)
宿泊：ホテルユニバーサルポータル
平成三十一年
三月三日～四日(土)



生駒市 世良 厚介

ユニバーサル・スタジオ・ジャパンに一泊二日の旅行に行きました。親子二人で参加しましたが、どこに何があるかよく分かりませんでした。すると本部の方が付き

添って介護を手伝って下さったので、とても有難かったです。

二日間雨と予報されていたにもかかわらずたいして雨も降らなかつたのが何よりでした。

一日目は、ハリポッターの大きくそびえ立つお城の中を見て回りました。薄暗い灯りに何かが起こりそうな雰囲気音楽が流れ、夜一人で来たなら怖いと思いました。魔法の杖を売っているお店は、杖を振ると引き出しが開いたり、大きな音が鳴って、まるで魔法をかけているようでした。

ターミネーターの映画館は、3D効果のすごい迫力で自分の方にあるんな物が向かってきて怖くて思わず目をつぶりました

シュレックの映画館は、座っている椅子が大きく揺れて水しぶきがかかり、一緒に走ったり下へ落ちたりしているようでした。十一時から夕方五時まであちこち見て回り食事もしてゆっくり過ごし、気が付けば六時間もたっていました。ホテルの朝食バイキングは、とても美味しくて沢山の種類を二時間近くかけてお腹一杯食べました。二日目は、どうしても乗りたかつたジュラシックパークのウォータースライダーに乗って高い所から急降下で水の中へ入っていき、すごい水しぶきだったので感動し

ました。

まだまだ回り切れないほど広がったですが二日間とても楽しく来て良かったと思います。お世話になり本当に有難うございました。



大和郡山市 門之口 結衣

一泊旅行に参加するのは今回が初めてでした。

雨模様で、乗れるアトラクションは少なかつたのですが、大好きなミニオンと写真を撮ったり、お土産を買ったり、パーク内を散策したりして楽しかったです。ホテルもバリアフリールームで、広くとても快適でした。朝食もバイキング形式で色々食べられてgood!

USJでは、移動、順番待ち：びしょ濡れで悲惨でしたが、周りの人達が雨など気にせず楽しんでるのを見て、パワフルだなと感心しました。せっかく来たのだから思い切り楽しまなきゃと思つて、頑張つてハリポッターエリアにも行きました。

役員の皆様には、お風呂やお部屋の心配等、色々大変だったと思います。感謝しています。

これからもこのような機会を大切にして、皆様と交流を深めていけたらと思いますので、よろしくお願いいたします。本当にありがとうございます。



広陵町 朝長 盛豪

昨年続き二度目の旅行参加となりました。バスに乗り綺麗なホテルに泊まり、時間を気にせず家族でユニバを満喫することができました。この旅行は、団体行動だからこそ、この様な気軽な感じでいられたのだと思います。

普段、ユニバに障害のある子どもを親が連れてこようと思うと、車を運転し障害者駐車場が空いているのかという心配をします。そこから医療器具などの荷物をかっいで入場するのは大変です。電車で行つた場合は、この何倍も気を遣います。どちらの場合も着いたときから疲れて、ユニバから帰るときには、これから運転するのとか、電車で帰るのかと考えるだけで、ユニバで過ごし楽しかつた気分が吹っ飛んでしまいます。

これが同じ障害者の家族を持つ同じ立場の方々との同乗し、行つて、帰るのは気分的に楽で、実際に体

も楽で快適でした。

少し残念なのは、去年も今年も雨模様で、車椅子だから仕方がないのですが、多くのアトラクションを見ることができなかつたことです。シーズンによるホテル料金などの都合だと思いますが、天候の安定している五月頃に旅行できれば更に良かったなと思います。素晴らしい旅行だったからこそ、欲がですが、今後是非とも続けていただけたら、私と同じく、この旅行を楽しみにする親や子どもたちが増えるのだろうと感じています。

この事業は赤い羽根共同募金の助成により行われました



研修部会より

本部役員 朝長 智子

平成三十年度に開催した研修部会は次の通りです

・四月十九日(金) 新旧研修部会 三十名参加

・七月十三日(金)

「改正 障害者総合支援法」の勉強会 四十六名参加

講師 奈良県福祉医療部

障害福祉課自立支援・療育係

係長 落合 真由美氏

・九月二十日(木)

「障害のある子と親のマネー&ライフプラン」五十名参加

講師 明るい未来準備室

代表 山口 まゆみ氏

・十一月六日(木)

「障害福祉サービスの勉強会」

三十八名参加

マネープランについての研修は二十九年程度から数えて三回目となりました。「さらに勉強したい」という意見がありましたので今後も取り入れて行けたらと考えています。障害者総合支援法の勉強会は「個人で読んでもわかりにくいことが多いけれど、研修部会で学ぶことで理解の助けになった」との意見をいただきました。

平成三十一年度の研修部会の予定

① 四月十九日(金) 新旧研修部会

二十二名参加

平成三十年度の研修部会の総括とこれからの研修部会に望むことについて話し合いました。

② 六月二十七日(木)

十時三十分～十三時

「やさしくなめに」映画鑑賞会

てんかんと知的障害のある女性の家族のドキュメンタリー映画です。研修部員だけでなくたくさんのご参加をお待ちしています。

③ 七月二十三日(火)

十三時～十五時

近畿福祉大会を終えてテーマについて話し合う

④ 日程 未定

療育ハンドブック 四十四集

肢体不自由児者の合理的配慮に基づく障害者権利条約を批准して私たちの生活はどう変わったか。私たちが学びます。これからは「障害者差別解消法」と「障害者権利条約」に基づいて、障害者とその家族が頑張るのではなく、どの人も平等に社会参加できるように社会と国がその責任を負う時代になっていきます。関連する法律を理解し、意識的に活用できるように、会員同士でまたは、講師をお招きしての研修会にしたいと思っております。

⑤ 障害者権利条約。パラレルレポートの学習会

ー トの学習会

パラレルレポートとは、障害者の権利条約に基づいて日本の障害者の権利が実際に守られているかどうかを当事者団体が国連に報告するレポートで政府報告とは別に提出されるものです。

以上を予定しています。

本人部会



楽しんでます！「本人部会」

葛城市 秦 十三

日ごろは、父母の会(親の会)というのに、諸事情のため、私(子供)だけが、会の行事に参加させて頂いておりました。感謝とお詫びを申し上げます。

さて、父母の会の組織のひとつである、「本人部会」に私は主に参加させて頂いているわけですが、その理由として、やはり、さまざまな年齢の方と交流が持てるというところにあります。十代から五十代といった方から、日ごろの生活について、楽しかったことや不便に感じたこと、また今後どのように生きていきたいかなどのお話しをお聞きしたり、私の生活や経験をお話しすることで、私もとても楽しく有意義に過ごさせて頂いておりますし、また多少でも、どなたかの参考になつていいるのではないかと考えております。

本人部会の役員の皆さんが中心となり、今後の活動を考えていく。私も役員ではありませんが、何度か企画に参加させて頂きましたが、大勢の人数での行事を企画

するというのは結構、下見や設備の確認などの準備が大変と感じました。役員の皆さんは、本当に大変だろうと思います。また、その活動を支えてくださる事務局や父母の会の役員の皆様にも深く感謝しなければならぬと思っております。私は何もできませんが、ご協力できることがあれば積極的にお手伝いさせて頂きたいと思っております。

最後に、今回はどんな企画をして頂けるのでしょうか。楽しみにしております。がんばってね。役員みんな！

シユラスコ

バーベキューに参加して



奈良市 黒木 浩喜

去年の十月に、わかくさもえぎでバーベキューをしました。ぼくは久しぶりに本人部会に参加してとても楽しかったです。わかくさもえぎに行くのは、はじめてだったので、どんな所かなあと楽しみなとともに、無事にたどりつけるかなあと不安もありましたが無事にたどりつけました。久しぶりにみんなに会えてうれしかったです。

色々話もできてよかったです。バーベキューも家でめったにしないから、いろいろなものをたくさんたべました。みんなでたべたバーベキューは特別においしかったです。これからも、できるだけ本人部会に参加しようと思っています。電車にのって、どこかに行く企画をたてられたらなあと思いました。

訓練会より

仔鹿会



会長 山本 真由美

平成三十年度も月例会、ミニミニキャンプ・総会、夏の療育キャンプ、心理リハビリテーション全国大会(高知)と一年間の活動を無事に終えることができました。様々なご支援をいただいております皆様にご心よりお礼申し上げます。仔鹿会の大きな柱となる夏の療育キャンプには、総合指導に明治学院大学心理学部より清水良三教授を、キャンプ長に研究会より毛利孝先生をお迎えして八月九日から十四日まで宇陀市の椿寿荘にて行いました。今回初めてキャンプ

マネージャーを務められる先生のこともキャンプは初めてという若い先生方も多く参加してくださいました。また、幼いご兄弟と一緒に初参加のトレーニーも含め、小学校二年生から社会人四十六歳まで幅広い年齢層のトレーニー十二名を囲んで例年にも増して活気に満ちながらも温かく優しさを感じるキャンプとなりました。

十二月に高知で行われた全国大会には、研究会の先生方十七名と保護者一名が参加しました。「未来につながる心理リハビリテーション」がテーマで、一日目の基調講演、シンポジウム、公開実技指導、二日目の分科会では「肢体不自由児者に対する動作法」に参加しました。支援学校での動作法適用における取組について話題提供・討議がされました。もう一つの話題提供は、長年にわたり動作法を続けてきたトレーニーの訓練環境と訓練課題の変遷で、家庭環境、進学、就職、手術(入院)等の変化の影響を受け、どのように動作、情緒、行動などを変容させてきたかを二十四年間に渡り調査、分析をしたもので、子どもの成長と親の高齢化等も含めて、とても興味深い話題でした。次年度には仔鹿会も五十年目と大きな節目の年を迎えます。これ

だけ長年活動を続けてこられたのは先輩方の熱意や努力により築き上げた会を繋げてくださり、そして長きに渡り支えていただいております皆様のおかげと感謝しつつこれからも一人でも多くこの訓練を必要としている会員や動作法を学ぼうと参加してくださる先生方にとつて仔鹿会が温かく有意義な場所となるよう先生方のお力をお借りして、私達保護者も努力して未来にバトンを繋いで参りたいと思います。

今後とも、仔鹿会の活動に皆様のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

陽だまり笑顔の会



NPO法人 ひかりの森

小野 弘美

生活介護日和では、毎月第四土曜日に静的弛緩誘導法の親子学習会を開催しています。月によっては、日和の開所日(月曜日・金曜日)に先生が来て下さり通所されている利用者様一人一人、丁寧に対応して下さっています。

静的弛緩誘導法は、手の温もりによってお腹・背中・胸・足・心

までもがリラックスでき、相手のことを思いながら触れるうちに、体がフワッと緩んで身体も温まって子供たちも、とても良い表情を見せてくれます。

今年の三月には、名古屋から講師の方をお招きして、日和で集中勉強会を開催させて頂きました。親子十五名・研修生二十五名(万葉サービスタワーからも九名)のかたが参加して下さい、とても楽しくて有意義な勉強会になりました。楽しい音楽に合わせて、車いすに座りながら足を動かす動作はとても楽しかったです。このような勉強会を日和で開催できた事本当に感謝しています。

そして本年度は、二〇二〇年一月十九日(日)「陽だまり笑顔の会親子集中学習会」を、「全国重症児者デイサービス・ネットワーク」が主催する「全国セミナー二〇一九年度(ふれあい体操)NPOひろがり」の一環として、桜井市立図書館円形ホールで開催する予定をしています。

生活介護日和は、医ケアを必要とする子たちが地域で暮らしやすい環境の中、生活できるような制度の拡充を求める活動に賛同し「全国重症児者デイサービス・ネットワーク」に入会致しました。二〇二〇年一月、多くの先生方

の協力により、このようなセミナーが桜井で開催できること、とても感謝しています。今後共、皆様のご指導・ご支援賜りますようお願い申し上げます。

※『全国重症児者デイサービス・ネットワーク』の活動の趣旨をホームページから引用して紹介し

◇身体・知的とも最重度の障がいを持った子どもたち（重症心身障がい児者）と日常生活において医療的ケアが必要な子どもたち（医療的ケア児者）のことを、「全国重症児者デイサービス・ネットワー

◇重症児が成長して十八歳になると「児」から「者」と表記が変わる。生活環境も、利用する施設が学校や児童施設から成人対象の障がい者施設へと移る。当然、課題も成人の領域へと広がる。児発達支援事業（放課後等デイサービ

その趣旨とは、

ス事業」の利用者が「重症児」の時に配慮された「重心」対応の基準からすると、十八歳をこえた「重症者」が地域生活の拠点として多く利用している「生活介護事業」には、「平成三十年障害福祉サービス等報酬改定」での部分的な配慮がなされましたが、未だ不十分であり、課題を先送りした感がある。制度の更なる拡充を求めている。



今後の行事予定

★第50回奈良県肢連総会

日にち：令和元年6月6日（木）
時間：10時15分～15時
場所：奈良県社会福祉総合センター5階 研修室B・C
午後の講演：「あなたとわたしをつつむもの」
講師：佐々木慈瞳さん 音羽山観音寺（桜井市）副住職



★第54回近畿肢体不自由児者父母の会福祉大会 奈良大会

テーマ：より豊かに生きることが出来る共生社会の実現をめざして
切れ目のない障害者支援の充実と社会への障害者理解の促進
～福祉と医療の現状と課題～
日にち：令和元年7月13日（土）
時間：10時30分～16時
場所：奈良県社会福祉総合センター 大ホール



奈良での大会です。
皆様のご参加、ご協力よろしくお祈いします！

★第15回チャリティー墨書展

日にち：令和元年9月7日（土）、8日（日）
場所：奈良県文化会館 B展示室



★第50回全国肢体不自由児者父母の会連合会全国大会

テーマ：『住み慣れた地域で、共生社会の実現』
～ほんとの空がある福島から、共生社会の実現を目指して～
日にち：令和元年9月14日（土）～15日（日）
場所：ふくしま磐梯熱海温泉「ホテル華の湯」

「さわやかレクレーション事業」

映画上映 やさしくなめに

日時：令和元年6月27日（木）
10時30分（上映開始）～13時
場所：奈良県社会福祉総合センター
5階 研修室C



編集後記

初夏の風が爽やかな季節、皆様いかがお過ごしでしょうか。
今回もお忙しい中、原稿をお寄せ頂き誠にありがとうございました。皆様に支えられ、子ども達と色々な活動ができることに感謝いたします。
来月開催の近畿大会、及び九月の墨書展に皆様お越しくださいますようお願い致します。

